

■ 英国国立公文書館と大英図書館の巨大アーカイブ

# パリ講和会議とその後 1919~1939年 Paris Peace Conference and Beyond, 1919-1939

連合国がどのようにヴェルサイユ条約と国際連盟を考案したかを探る



パリ講和会議は、第一次世界大戦後に行われた連合国の外交官たちの会議であり、その目的は敗北した中央同盟国に和平条件を課し、新しい国際秩序を築くことでした。本コレクションには、ヨーロッパおよび世界史におけるこの激動の時代に関連する記録資料が収められています。これらの文書は、ヴェルサイユ条約、サン＝ジェルマン条約、ヌイイ条約、トリアノン条約、セーヴル条約、ローザンヌ条約、ロカルノ条約、そして国際連盟の設立に関するものです。これらの条約は、ドイツの力と影響力を大幅に削ぎ、ヨーロッパと中東の国境を再編成し、オスマン帝国の解体を引き起こしました。FO 608（外務省：講和会議、イギリス

代表団、書簡および文書）を含むほとんどのファイルは英国国立公文書館から取得され、ロバート・セシル卿とアーサー・バルフォア卿の個人文書は大英図書館から提供されています。

第一次世界大戦は、複雑な同盟関係と対立構造を生み出しました。戦後、連合国によって課されたさまざまな条約は、ドイツ、ブルガリア、オスマン帝国（後のトルコ）、オーストリア、ハンガリーとの紛争を解決しました。これらの条約の多くは、多国間の仲裁と集団安全保障の原則に基づく国際秩序を構築することを目的としていました。しかし、本コレクションに収録された文書は、政策立案者が権力政治の論理と国際主義の理想を両立させようとする際に直面した困難を浮き彫りにしています。

本コレクションの文書の大部分は、イギリス政府によって作成されました。多くは外務省によるものですが、内閣府や陸軍省の記録も多く含まれています。また、オスマン帝国の旧領土を中心としたヨーロッパと中東の変動する国境を詳細に示した高解像度の地図シリーズも含まれています。帝国と帝国主義に関する記録が多く含まれる一方で、国際連盟、アメリカの国際世界における不安定な影響力、そして賠償問題も大きなテーマとして扱われています。一部の文書は、戦後の時代におけるイデオロギーの変化を示唆しており、ロシアのボルシェビキ政権やイタリアにおけるファシズムの台頭への言及が含まれています。さらに、ロバート・セシル卿やアーサー・バルフォア卿の個人文書は、和平プロセスに関する異なる視点を提供しています。両者とも、パリ講和会議とその後の交渉で重要な役割を果たしました。

## 大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費(Annual Hosting Fee)は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

**トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで**

日本総代理店 **極東書店**

**FAR EASTERN BOOKSELLERS**  
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル  
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761  
075(353)2093 FAX (353)2096  
092(751)6956 FAX (741)0821

URL:<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail:[info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)





## ■9つのパートに体系的に整理された膨大な史料アーカイブ

### 1. The Paris Peace Conference and Treaty of Versailles, 1919



パリ講和会議に集まった外交官たちは、第一次世界大戦を正式に終結させ、より安定した国際秩序を築くことを目指しました。その結果として締結されたヴェルサイユ条約は、こうした目標を実現しようとする野心的な試みであり、ドイツに戦争の責任を認めさせ、植民地を放棄させ、賠償金を支払わせ、広範な領土を割譲させ、さらに軍備を縮小させました。また、この条約により国際連盟が設立されました。本パートには、会議および条約に関連するさまざまな外務省の文書が収録されています。手続きの議事録や議題、ハンドブック、書簡などが含まれるほか、勝利した連合国の関係についても多くの記録が収められています。経済史を研究する学生にとっては、ジョン・メイナード・ケインズの見解が特に興味深いものとなるでしょう。また、1932年のローザンヌ会議（賠償金の支払いが停止された会議）の内閣府記録も含まれており、最終的にヴェルサイユ体制が失敗に至った経緯を垣間見ることができます。

### 2. Records relating to the Treaty of Saint-Germain-en-Laye, 1919

サン＝ジェルマン条約は、連合国とドイツ＝オーストリア（オーストリア＝ハンガリー帝国の崩壊後に成立した残存国家）との間で正式に敵対関係を終結させたものです。本パートには、戦争に対するオーストリアの責任や、いわゆる「ドイツ問題」における役割に関する外務省の幅広い文書が収録されています。オーストリアの地理的な位置により、イタリア、チェコスロバキア、ポーランド、セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国など、いくつかの地域大国も大きく関与しています。



### 3. Records relating to the Treaty of Neuilly-sur-Seine, 1919



ヌイイ条約は、連合国とブルガリアの間で正式に敵対関係を終結させたものです。この条約の条件に基づき、ブルガリアは戦争の責任を認め、軍備縮小と賠償金の支払いに同意しました。また、ギリシャ、ルーマニア、セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国に数千平方マイルの領土を割譲しました。本パートには、交渉および条約に関連する外務省の文書が収録されており、ハンドブック、会議の議事録、ブルガリアの変動する国境を示す詳細な地図が含まれています。また、ギリシャとの人口交換、南東ヨーロッパおよびバルカン半島の難民や戦争捕虜の苦境についても多くの資料が収められています。

#### 4. Records relating to the Treaty of Trianon, 1920

トリアノン条約は、新たに成立したハンガリー王国に和平条件を課したものです。本パートには、条約の交渉およびその影響に関する外務省の文書が収録されています。賠償金、軍備縮小、ハプスブルク家のその後に関する議題が含まれるほか、ハンガリー人および非ハンガリー人の帰還、1918～1919年のハンガリー・ルーマニア戦争、主要な連合国の政策、ならびにハンガリーの地域的な対立国についても多くの資料が含まれています。



#### 5. Records relating to the Treaty of Sèvres, 1920

ほとんどの歴史家は、セーヴル条約がオスマン帝国の終焉の始まりを示したと認めるでしょう。この条約の起草者たちは、トルコ以外の属州の分離と、厳格な軍事・経済制限の実施を監督しました。本パートには、条約とそれに対する不満に関する外務省の情報が収録されており、最終的にこの条約が失敗した理由を明らかにしています。取り扱われるテーマには、戦争直後の連合国によるオスマン領土占領、かつて強大だった帝国の空白を埋めるために、旧来の国家や新たに成立した国家が争った様子が含まれています。特に、「Maps Relating to the Boundaries of the Ottoman Empire and Turkey, 1916-1923 (iii)」は、この領土分割の詳細を示しており、有名（悪名高い）なサイクス・ピコ協定の写しも含まれています。この協定の影響は現在も続いています。



#### 6. Records relating to the Treaty of Lausanne, 1923

1922～1923年のローザンヌ会議は、ムスタファ・ケマル・アタテュルクの政府がセーヴル条約の規定を受け入れ難いとして拒否した後に開催されました。この条約は、オスマン帝国と連合国との紛争を正式に解決し、トルコ共和国の国境および中東における欧州の植民地的利益を確定させました。本パートには、会議および最終条約に関連する海軍省、航空省、外務省、財務省の記録が収録されています。取り扱われるテーマには、トルコの軍縮、黒海の新武装化、ギリシャとの人口交換、人口追放、トルコの地域的な対立国の役割、そしてさまざまな政治思想や宗教的少数派の影響が含まれています。セーヴル条約に関するパートと同様に、地図は特に重要な洞察を提供しています。



#### 7. Records relating to the Locarno Treaties, 1925

ロカルノ条約は、パリ講和会議で合意された戦後の領土体制を確固たるものにすることを目指しました。本パートには、内閣府、植民地省、外務省、陸軍省による条約およびその影響に関連する記録が収められています。交渉過程に関する豊富な資料が含まれている一方で、記録の多くは1933年から1939年の間に見られたナチスの報復主義に対するイギリスの対応を扱っています。また、他の欧州列強や国際連盟の対応についても言及されています。



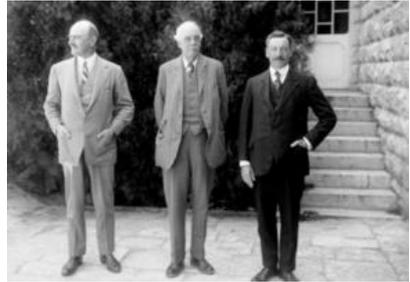
## 8. Papers of Lord Robert Cecil, 1917-1924

ロバート・セシル卿（1864-1958年、後のチェルウッド子爵）は、イギリスの弁護士、外交官、政府大臣でした。彼はパリ講和会議のイギリス代表団の一員として活躍し、ヴェルサイユ条約の起草や国際連盟の設立に重要な役割を果たしました。本パートには、セシルの個人的および職業的な文書の抜粋が収録されています。文書には、パリでの日記、国際連盟の初期の記録、1924年のアメリカ合衆国やスカンジナビア訪問中に記録した所感が含まれています。



## 9. Papers of Sir Arthur Balfour, 1919

アーサー・バルフォア卿（1848-1930年）は、第一次世界大戦およびパリ講和会議の際にイギリスの外務大臣を務めました。本パートには、バルフォアとイギリス代表団の間で交わされた文書が収録されています。覚書、報告書、ブリーフィング、議題、電報のほか、外交官や政治家との書簡やインタビューも含まれています。文書のテーマは幅広く、論争を呼んだ「戦争責任条項」から、太平洋における日本の植民地的野心に至るまで多岐にわたります。



The screenshot displays the search interface for the 'Paris Peace Conference and Beyond, 1919-1939' collection. It includes a search bar, filters for material type (e.g., Accounts, Agendas, Books, Correspondence, Diaries, Maps, Memoranda, Minutes, Notes), date range, and region. Three search results are shown, each with a document thumbnail, title, date, contributor, identifier, and a list of archive references. The results are: 'Foreign Office records on German Colonies, 1919', 'Foreign Office records on the German Question, 1919 (i)', and 'Foreign Office records on the German Question, 1919 (ii)'.



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)